



各部署の代表者が集合!

エムデンスタッフ座談会

営業部から技術部、製造部、品質管理部まで。

エムデンの各部署のキーマンが一同に介して座談会を開催。

現在の製造業を取り巻く環境からエムデンの強み、

エムデンのこれからなど、ざっくばらんに語ってもらいました。

キーマンに訊く、 各部署の業務について

— **司会 (以下:司)** 本日はエムデンの現在の業務から、これからの展望に至るまで、座談会という形でざっくばらんに語っていただこうとお集りいただきました。まずはじめに各部署の通常の業務からお伺いさせていただきます。

営業部 小田切 (以下:小) 営業部では大きく分けてふたつのグループがありまして、ひとつはお客様を訪問させていただいてPR活動を行うグループ。もうひとつは実業務を中心に行っているグループです。私は前者の方を担当しています。

技術部 藤原 (以下:藤) 技術部は営業部からの依頼を受けてお客様との打ち合わせに同

行して、ご要望を伺いながら商品の開発を行うグループと、製品を製作するための生産設備を作るグループに分かれて、それぞれで商品設計と生産設備設計を行います。ゆくゆくは製造部に金型の発注も行います。

製造部 吉成 (以下:吉) 弊社の製品はプラスチック部品と金属プレス部品の組み合わせですが、プラスチックの成形加工、金属のプレス加工、そして金属品のタップ加工。この3工程がまとまっているのが製造部の部品加工グループになります。

製造部 高橋 (以下:高) 製造部の工程管理グループでは、製品に使用する部品を支給してもらって、協力会社様に委託加工してもらいます。さらにできあがってきたものを今度は社内

で加工や検査をして、お客様に出荷する準備をしています。製造部には部品加工グループと工程管理グループの他にも、計画・購買グループや金型加工グループなど、5つのグループがあります。

品質管理部 和田 (以下:和) 主な業務としては3つ。まず受け入れ検査業務と出荷検査業務。そしてクレーム対応の業務になります。受け入れ検査では仕入れた部品が納品された段階で抜き取り検査を行います。出荷検査では工程管理グループで加工したものを抜き取り検査します。クレーム対応ではお客様のクレームに対して、現品の検証を行い原因を探り、当該部署に対しては是正処置を促す対策書を発行しています。

市場のニーズに正面から向き合い叶える姿勢

カスタム製品が中心の生産、一丸となってニーズに応える

— 司 エムデンではほとんどがカスタム製品を中心に製作していると伺いましたんですけど……。

藤 そうですね、9割以上はお客様とのタイプアップによるカスタム製品。1割程度が標準品と自社ブランドとなる製品です。

— 司 カスタム製品ということは当然お客様のニーズに的確に対応しないとイケないと思いますが、ここ近年、ニーズの変化についてはいかがですか？

小 お客様のニーズというよりも、市場のニーズの変化が著しいですね。弊社は国内のみの生産体制なので、必然的に国内を主力に生産されているお客様がターゲットになります。一昔前はAV関連の製品が多かったですが、いまAVは海外生産がほとんどなので、コスト面も含めて苦しいカテゴリーになっています。だいたい構成比も変わりました。あとは環境クリーン関係のニーズが高まっていますよね。

コスト優先の現状、それに対するエムデンの答え

多品種少量生産が主流のいま 創意工夫がカギを握る

— 司 製造業は一般的に縦割りのイメージがありますが、エムデンは一丸となって共通の認識を持って、臨機応変で迅速に対応しているんですね。その他に先ほどAV関連製品のお話でコスト面のお話が出ましたが、コスト面のニーズにも変化が見てとれますか？

藤 昔は品質第一が常でしたけど、いまの市場のニーズとしてはやっぱり低コストが第一優先になっていますよね。例えば弊社の見積りが100円だとして、中国で作ったら20円といわれたら、ハナから勝負になりません。それが当たり前になってしまっているから、コストの話止まりで品質の話まで行かないことがよくあります。

技術部 小田切 光一（以下：光） 低コストの対抗策として付加価値っていう考え方もあるんですけど、画期的な付加価値を付けられたとしても「なるほど。で、いくら？」となってしまふ。

和 環境クリーンに関して、弊社では品質管理部が担当部署という形で、購買が仕入れた部品や社内で製造した部品に禁止素材が使われていないか、念入りにチェックしています。

— 司 他に市場のニーズの変化を感じることはありますか？

吉 やっぱバブルが弾けて以来は「多品種少量」の発注が主流になってますよね。金型にしても作る部品が変わるたびに交換しないといけない。でも生産の流れは止められないのでいかにムダなく加工するか、常に考えながら段取りを組んで計画的に稼働率をあげています。みんなホメてあげたくなくらい、文句も出さずにがんばってくれていますよ。

和 品質管理的な視点で見ると、弊社の売りは部品から製品まで一環生産なので、基本的に問題が起きたとしても絶対に対応してしまう、そういう小回りが利くところですよ。一部署で問題が起きても、全体で考える。部署を超えて手伝う……そういう姿勢が他とはちがうところだと思います。

それで「〇〇円です」というと「じゃいままでのものでいいや」となってしまふんですね。コストを抑えつつ付加価値を備える……そんな都合のいい製品はそうそうできないんですけど、それでもやっぱり両面を兼ね備えたものをいかに開発するかというところが今後のポイントだと思います。

技術部 杉原（以下：杉） 中国とのコスト差の話が出ましたが、なにがちがうかといえばやっぱり人件費が格段にちがいます。でもいまは多品種少量の時代だから、なかなか設備投資にお金をかけることもむずかしくなっています。だからいま現場には大きな設備ってあまりないんです。卓上の小さな設備をひとりのパートさんが使いこなす感じになっています。

高 弊社も一時期は10m、20mの長いラインに細分化された作業を何人もでこなしていたこともありますが、いまはひとりで多量の作業をこなす「多能工」のような作業に変わりつつあります。それが当たり前になってきてますね。





- ①:製造部 マネージャー 吉成 博
- ②:技術部 部長 藤原 京一
- ③:技術部 マネージャー 小田切 光一
- ④:製造部 マネージャー 高橋 一馬
- ⑤:品管部 マネージャー 和田 康広
- ⑥:営業部 マネージャー 小田切 勇
- ⑦:技術部 マネージャー 杉原 守

※2011年8月現在の部署・役職です。

厳しい状況だからこそ求められるアドバンテージ

各キーマンからみた、エムデンの強みとは？

— 司 製造業にとって厳しい状況になっていますが、ズバリ「ここがエムデンの強みだ！」っていうものはありますか？

小 PR活動の段階で、やっぱり開発から予算、生産までほとんど社内ですべて完結できる一環生産の部分は武器のひとつです。それゆえのネットワークの軽さが強みになります。

藤 生産拠点を中国やベトナムに移しても、技術設計部隊は日本にある企業もまだまだ多いので、そういうお客様とはすぐ訪問させていただいて打ち合わせが可能ですから。いまのところそういうお客様からご依頼をけっこういただきます。

小 同じ敷地に技術部も購買グループも、生産に必要な部署がそろっていますから体制はすぐに整います。打ち合わせも電話ではなく直接お伺いさせていただいてるので、品質管理も含めて早急な対応を心がけています。

光 製品開発の視点で大切にしているのは、お客様の痒いところに手が届くような、そんなモノ作りを目指しています。とにかく生の声を直にお伺いして持ち帰って、そしてほしいはこの座談会のメンバーなんですけど、いろいろ要望に対する打ち合わせを重ね、調整を重ねて……。

— 司 その過程はけっこう厳しい意見とかも……。

光 もちろん出ます。「ムチャクチャなことわかれてもできない!」とか(笑)。どうしてもそういうやりとりになってしまうこともありますね。でもそこをなんとか調整して、進めていく……ハードルは高いです。

高 ここ何年かはさらに社内生産率を高めることに取り組んでいますが、やっぱり行程が全部見えるのはいいですね。作りやすい、作りづらさも当然見えますし、技術部と連携して生産装置を改善したり、品質向上のための工夫が迅速に可能です。目の届く範囲で、製品がすべて作れるっていうところは、やっぱり弊社の強みじゃないでしょうか。

モノ作りへの想いに垣間みるクラフトマンシップ

仕事の中に夢をみる 個人的に挑戦したいことは？

— 司 最後にそれぞれの担当業務の中で、「これは挑戦したい!」というものをお聞かせください。

杉 個人的にですけど、大量に出荷する部品をやってみたいですね、大きな設備を作って。やっぱりそこは技術屋なので、そういう設備の開発が楽しくて仕事してますから。

藤 私は儲かる仕事を(笑)。

吉 儲かる仕事……1個何十万もするような製品を作ってみたいなあ。可能か不可能かは別としてね(笑)。

和 個人的には楽をしたいですから(笑)。そのためには不良が出ない製品を作ってほしいですね(一同、笑)。

小 私は営業部の人間ですけど、おもしろいものの開発に携わりたいですね。先ほどの話でもあがっていた低コストありきではない、機能が充実していて、品質も高く、総合的にもおもしろいといっていただけの製品の開発をして、最後に「いくらなの?」って聞かれるような(笑)。いまはどうしても「予算はいくらだけど、どう?」ってコストが前提になってしまっていますが、それを最後に持っていきけるような、お客様の要求要望を見事に満たしながら、仕事を進めていけたら、私にとって一番うれしいですね。

座談会を終えて……

いま日本の製造業にとって、厳しい状況が続いています。

そんな中でエムデンでは、社是にある「誠心誠意」「研鑽」「独創」を糧として、向かい風の中を走っているように感じました。

お客様のニーズに直接向き合い、社内でお互いに共通認識を持ちながら話し合いを重ね、製品はもちろん、生産工程に至るまで創意工夫を施す……

一言でいえば「クラフトマンシップ」ですが、それを実践するためのハードルは決して低くはありません。

時につまずきながらもそれらを越え、夢を持ってゴールを目指す姿勢こそ、

共に仕事を進めるパートナーとして最も大事なことだと気づかされました。

エムデン無線工業株式会社

<http://www.emuden.com/>
E-mail : eigyo@emd.emuden.co.jp

営業部	本社	〒252-0801 神奈川県藤沢市長後1277
		Tel:0466-43-2511 Fax:0466-43-5110
	西日本営業所	〒536-0015 大阪市城東区新喜多2-6-8 ヤマトビル2F
		Tel:06-6930-5500 Fax:06-6935-6610

EMUDEN CORPORATION

Sales Dept. Head Office	1277 Chogo, Fujisawa-city, Kanagawa, 250-0801 Japan
	Tel:0466-43-2511 Fax:0466-43-5110
West Japan Sales Office	2F, Yamato Bldg. 2-6-8,Shigita,Joto-ku,Osaka-city,536-0015 Japan
	Tel:06-6930-5500 Fax:06-6935-6610

伊睦甸電子貿易(深圳)有限公司

深圳事務所	深圳市南山區海德三道海岸大廈(西座) 1410-A
	Tel:86-755-8622-1752 Fax:86-755-8622-1752

EMUDEN ELECTRONIC TRADING(SZ)CO.,LTD

Shenzhen Office	No.1410-A Coastal City(West Tower) Haide San Dao, Nanshan District, Shenzhen P.R.China
	Tel:86-755-8622-1752 Fax:86-755-8622-1752

惠夢電香港有限公司

香港事務所	香港九龍旺角彌敦道625號雅蘭中心2期7樓704室
	Tel:86-755-8622-1752 Fax:86-755-8622-1752 (深圳事務所)

EMUDEN HONG KONG CO.,LTD

Hong Kong Office	Unit 704,7/F,Two Grand Tower,625 Nathan Road, Mongkok,Kowloon,Hong Kong
	Tel:86-755-8622-1752 Fax:86-755-8622-1752
